

学びの創造

学校が夏休みに入り、朝夕に子どもたちが登下校する光景が見えなくなりました。一方、大学はお盆近くまで授業があり、そのレポートやテスト期間に入っているため、大学生も教員も今が繁忙期といえます。節電のための夏季一斉休業を楽しむためにも、あと少し頑張って乗り越えたいものです。

★教員採用試験 一次対策から二次対策へ

今年も、7月上旬から教員採用試験が始まりました。秋田県の教員採用試験は、数十年ぶりに平均倍率が10倍を下回り、現役の学生たちにとっても、合格の可能性を感じられる倍率になってきています。7月23日～25日に一次試験を終え、気持ちをリフレッシュさせている頃と思いますが、右の表にある二次試験の日程を確認して、気持ちをリセットして二次試験に臨んでほしいものです。学校教育課程の学生の教員就職率が全国ワースト1位という汚名を返上するためにも、小論文や集団討論など、多くの先生方の協力が必要です。学生から依頼があることと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

	二次試験日程	模	論	個	集	実
北海道	8/3-5	○	○	○	○	○
青森県	9/22-23, 29	○	○	○		○
岩手県	8月下-9月上	○		○	○	○
宮城県	9/6-10	○		○		○
秋田県	9/7-9	○	○	○	○	○
山形県	9/11-12	○		○		○
福島県	9/8-9,15-17	○	○	○	○	
千葉県	8/17-19, 24-26	○		○		○
神奈川	8/13-24	○		○		○
新潟県	8/18-21	○		○		○

(模：模擬授業、論：小論文、個：個人面接、集：集団面接・討論、実：実技)

★熟達者のわざや知恵をいかに伝えるか

教育に限らず、どのような分野でも熟達を極めた人がいます。そのような人のわざや知恵、言うなれば実践知をいかに後世へと受け継いでいくかということが、医療、看護、スポーツ、武道、芸能、企業、そして教育など、ほぼ全ての分野で注目されています。いろいろな研修が義務化されたり、トップダウンで決まることが多くなってきていますが、実際にはなかなか実践知が受け継がれず、結果的に昔ながらの伝承システムが脚光を浴びているのです。今回は、熟達者のわざや知恵の伝承に関連して、2000年以降に出版された書籍を紹介します。学部、学校園、講座、ゼミ、部活動、サークルなど、身近な環境で考えてみてはいかがでしょうか。

- 金子明友 (2002) わざの伝承, 明和出版
- 小関智弘 (2003) 職人学, 講談社
- 佐藤郁哉・山田真茂留 (2004) 制度と文化—組織を動かす見えない力, 日本経済新聞出版社
- ドロシー・レナード, ウォルター・スワップ (2005) 「経験知」を伝える技術, ランダムハウス講談社
- 松尾睦 (2006) 経験からの学習, 同文館出版
- 渡部信一 (2007) 日本の「わざ」をデジタルで伝える, 大修館書店
- 西尾久美子 (2007) 京都花街の経営学, 東洋経済新報社
- 福島真人 (2010) 学習の生態学, 東京大学出版会
- 中原淳 (2010) 職場学習論, 東京大学出版会
- 生田久美子・北村勝朗 (2011) わざ言語, 慶応大学出版会
- 岸本章弘 (2011) NEW WORKSCAPE—仕事を変えるオフィスのデザイン, 弘文堂
- 金井壽宏・楠見孝 (2012) 実践知, 有斐閣
- 森田松太郎 (2012) 場のチカラ, 白桃書房



秋田大学竿灯会の練習風景
熟達者のわざや知恵が今年も
受け継がれています